



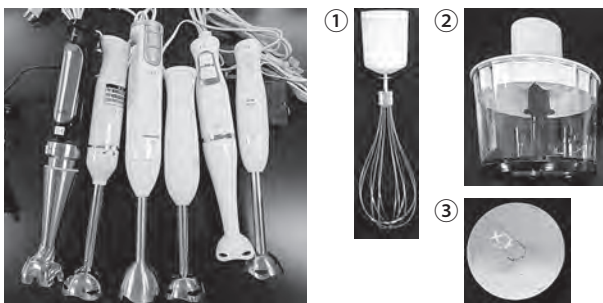
ハンドブレンダーの使い勝手

商品
テスト

ハンドブレンダーとは、マルチブレンダーの名称でも販売され、アタッチメントを交換することでハンドミキサー、フードプロセッサー、ジューサーなどとして使用でき、混ぜる・きざむ・つぶす・泡立てるなどができるハンディタイプの調理家電です。スイッチを押している間のみ刃が回転し、食材の状態を確認しながら仕上げられます。本試験では1万円以下のハンドブレンダーについて機能性や使い勝手などを調べ消費者へ情報を提供します。

テスト品目

1万円以下のハンドブレンダー 6 銘柄



左から No.1、2、3、4、5、6

①ホイッパー、②チョッパー、③おろし刃

テスト方法

試験はすべて、速度調整機能がある銘柄は最大速度、通常モードとターボモードがある銘柄はターボモードで行いました。

○テスト品一覧

No.	商品名	型式	メーカー等	生産国	消費電力* [W]	PS E	Sマーク	誤作動 防止機能	購入価格 (税込み) [円]
1	ブラウン マルチクイック7 ハンドブレンダー	MQ7005X	デロンギ・ジャパン株式会社	ルーマニア	400	○	○ (S-TÜVRheinland)	—	9,700
2	KEY+ARTZ ハンドブレンダー泡立て器付	HHB 1-C	株式会社ヒーローグリーン	中国	200	○	—	—	3,600
3	Panasonic ハンドブレンダー	MX-S302	パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社	中国	200	○	○ (S-JET)	○	7,400
4	TESCOM ハンドブレンダー	TBL30A	株式会社テスコム	中国	200	○	—	—	5,940
5	Blanc by dretec クックスティック	HM-804	株式会社ドリテック	中国	150	○	—	—	3,840
6	BRUNO マルチスティックブレンダー	BOE034	BRUNO 株式会社	中国	200	○	○ (S-JQA)	—	7,150

*ブレンダー使用時の消費電力

○調理時間

・ブレンダー（混ぜる・つぶす） 7mm角にきざんだジャガイモとニンジン、5mmのみじん切りにしたタマネギ計110gを20℃800ccの水に入れ、沸騰するまで強火、その後弱火で合計30分加熱。火を止め5分間放置した後、ハンドブレンダーを鍋の内側側面に沿って1秒で1周するように動かし野菜が滑らかになるまでの時間を測定しました。

・ホイッパー（泡立てる） 卵白約40gで角が立ったメレンゲになるまでの時間を測定しました。

・チョッパー（きざむ） チョッパーが付属したNo.3～6でニンジン60gを縦半分に切り、均一なみじん切りになるまでの時間を測定しました。

・おろし おろし刃が付属したNo.4で大根50gをぶつ切りにし、均一なおろしになるまでの時間を測定しました。

○最大稼働音 調理中に、1m離れた位置での稼働音を測定しました。

○電気代 各調理時の電気代単価を30円/kWhとして電気代を算出しました。

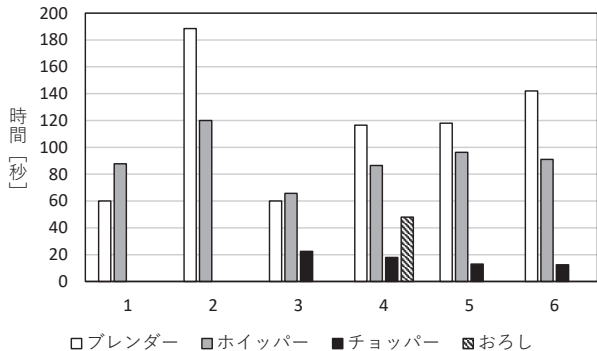
○安全性 使用時外郭温度を赤外線カメラで観察しました。また誤作動防止機能の有無を調べました。

○表示 安全に関する表示の有無を調べました。

○操作性 速度調整の有無を調べました。

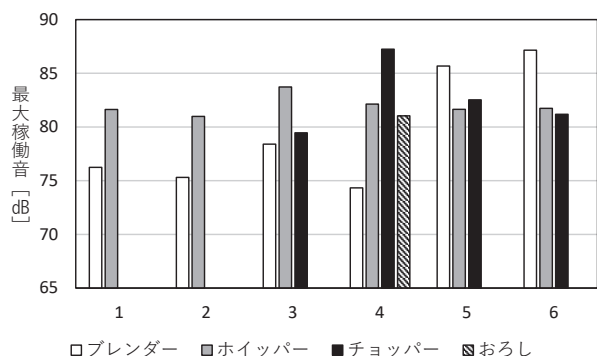
テスト結果

<調理時間>



- **ブレンダー** すべての銘柄で野菜は概ねなめらかになり、その時間は60 (No.1、3) ~ 189秒 (No.2) でした。
- **ホイッパー** すべての銘柄できれいなメレンゲができ、その時間は66 (No.3) ~ 120秒 (No.2) でした。
- **チョッパー** チョッパー機能のあるすべての銘柄で均一なみじん切りになり、その時間は13 (No.5、6) ~ 23秒 (No.3) でした。
- **おろし** 問題なく均一なおろしになり、その時間は48秒 (No.4) でした。

<最大稼働音>



最大稼働音は、ブレンダー使用時74.3 (No.4) ~ 87.1dB (No.6)、ホイッパー使用時81.0 (No.2) ~ 83.7dB (No.3)、チョッパー使用時79.5 (No.3) ~ 87.2dB (No.4)、おろし使用時81.0dB (No.4) でした。

<電気代>

電気代はいずれの調理も0.1円以下でした。

<安全性>

使用時外郭温度を観察しましたが、すべての銘柄で異常発熱はありませんでした。

誤動作防止機能は No.3のみにあり、ロック解除ボタンを押しながら運転ボタンを押さなければ動作しない構造でした。

<表示>

電気用品安全法で定められた安全規格を満たしていることを証明する PSE マークがすべての銘柄にありました。また電気製品の安全のための第三者認証である S マークが3銘柄 (No.1、3、6) にありました。

<操作性>

No.1、3に速度調整機能がありました。No.1はボタンの押し込み方で速度が変化し、No.3はダイヤル式でした。No.2、5は通常モードボタンとターボモードボタンがありました。No.4、6は運転ボタン1つのみで速度調整機能がありませんでした。

アタッチメントの着脱方法は、No.1のみボタン式で、ほか5銘柄は印に合わせてはめ合いロック位置まで回して取り付ける方式でした。

消費者へのアドバイス

- アタッチメントの交換や食材を取り除く際には必ずコンセントを抜きましょう。誤作動などで思わぬけがをする場合があります。
- ブレンダーは構造上、刃がむき出しになっています。使用時に注意するのはもちろんのこと、子供の手の届かない場所に保管するなど注意しましょう。
- 食材の形状、量によって調理時間は変わります。
- 付属のアタッチメントの種類は銘柄によって異なります。購入時には使用したい機能が付属しているかを確認しましょう。
- 取り付けるアタッチメントによって定格時間 (一回に使用できる時間) が変わります。定格時間を超過する使用は故障の原因になりますので、取扱説明書を確認し定格時間を守りましょう。